

2018年11月19日開催 **仙台**

参加無料
(事前登録制)

2020年以降の成長戦略を描く

中堅・中小企業経営戦略セミナー

日本はこれから人口減少が進み、市場が小さくなります。もし海外市場を開拓できても、人手不足を放置すれば既存の製造能力を維持するのも困難です。そんな環境下でも経営者は、次の一手を打ち続ける必要があります。

中堅・中小企業の経営者の皆様は、経営に立ちはだかろうとした課題についてよくご存じでしょう。しかし、それを乗り越えるための適切な解決策が見いだせずに日々悩まれているのではないのでしょうか。

こうした中堅・中小企業経営者の悩みを解決する組織として、2018年4月に日経BP総研 中堅・中小企業ラボ(旧・中小企業経営研究所)が発足しました。

東北地方での取り組み第一段として、11月19日に仙台でセミナーを実施します。窮地に陥っていた「無印良品」を復活させ、今や世界中で展開されるブランドを磨きあげた松井忠三・良品計画 前会長に経営再建と成長戦略の勘所を語っていただきます。

松井氏だけではありません。中堅・中小企業ラボの研究員が、各自の専門分野において最新の情報を直接お届けします。セミナー終了後には、名刺交換会と懇親会も開催します。セミナーだけでは解決しない個別具体的な悩みをぶつけていただけます。

主 な プ ロ グ ラ ム

13:00~13:40	テーマ 中堅・中小企業を取り巻く経営環境について 伊藤 暢人 日経BP総研 中堅・中小企業ラボ所長 広島県出身。1990年に東京外国語大学を卒業し日経BP社に入社。新メディア開発、「日経ビジネス」、ロンドン支局などを経て、「日経トップリーダー」編集長に。2017年、中小企業経営研究所(現・中堅・中小企業ラボ)の設立に携わり所長に就任した。幅広い業界の中堅・中小企業経営に詳しく、経済産業省や東京都などが主催する賞の審査員を歴任。多摩大学経営情報学部客員教授	
13:40~14:20	テーマ 生産性改善と人材育成の同時着手を一手で実現 神農 将史 日経BP総研 中堅・中小企業ラボ 主任研究員 1984年生まれ。愛知県出身。2009年日経BP社に入社。「日経ビジネス」「日経レストラン」「日経トップリーダー」の記者などを経て現職。中小企業の経営に関する知見が豊富。営業やイベント企画の経験もあり、現在は生産性改善や広報PR支援などを軸とした企業コンサルティングを実施している	
14:20~15:00	テーマ 今こそ中堅・中小企業は海外進出を考えるべき 山下 充洋氏 日経BP総研 中堅・中小企業ラボ 客員研究員 元マンドラム・元森永製菓海外担当役員 1964年生まれ。87年にマンドラム入社。2001年マンドラムインドネシア社長就任。08年マンドラム執行役員、国際事業部担当兼国際事業部長就任。12年に退社後、同年森永製菓入社。同社執行役員海外事業部担当などを歴任。18年6月から日経BP総研 中堅・中小企業ラボ 客員研究員。30年にわたり海外事業に従事	
15:00~15:20	休憩	
15:20~16:30	テーマ 厳しい経営環境下での成長戦略とその実行 松井 忠三氏 良品計画 前会長、松井オフィス社長 1949年静岡県生まれ。73年東京教育大学(現・筑波大学)を卒業。同年西友ストア(現・西友)に入社。91年良品計画出向。92年、良品計画に入社。2001年に社長、08年に会長。	
16:30~17:00	名刺交換会	
17:00~19:00	参加者同士による懇親会	

※講演者や講演時間など、プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

開催概要

日時 **2018年11月19日(月)** 13:00~19:00(開場予定12:30)

会場 **トラストシティ カンファレンス・仙台**
http://www.tcc-kaigishitsu.com/tcc-s/access.html
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー5階
・JR仙台駅 西口より徒歩9分
・JR仙石線 あおば通駅 2番出口より徒歩8分
・地下鉄南北線 仙台駅 南2番出口より徒歩6分
・地下鉄東西線 青葉通一番町駅 南1番出口より徒歩7分

主催 日経BP総研 中堅・中小企業ラボ 後援 (一社)東北経済連合会、仙台商工会議所

定員 100名 受講料 無料(事前登録制) ※定員となった場合、募集を締め切らせていただきます。

申し込みURL <https://www.nikkeibp.co.jp/seminar/atcl/semi/2018z1119ks/>

